草薙ゼミナール

2006 年度　卒業論文集

2007 年 3 月

大阪経済大学　経営情報学部

経営情報学科

指導教員：草薙 信照

草薙ゼミナール　2006年度　卒業論文集

【目　次】

指導教員	草薙 信照	2006年度卒業論文集の刊行に寄せて
035001	荒木 潤	滋賀県の人口増加と地域の発展
035006	円山 智幸	Ｊリーグの観客動員と経営戦略
035016	神原 由香里	都道府県別に見た住環境と住宅の関係
035017	北島 聖二	調味料の支出金額から見る各都道府県の食生活
035035	松山 雄児	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
035042	岡本 裕子	道路交通法の改正と交通事故件数の変化について
035043	奥川 由希子	東大阪市のコンビニエンスストアとファーストフード店の立地条件に関する分析
035093	窪田 淳	讃岐うどんの全国出店の分析
035098	辻口 浩次	都道府県別にみる少子高齢化の実態
035168	髙安 典章	鉄道が地域に与える影響－滋賀県での考察－
035174	仲田 周平	地域別分布割合からみる日本の苗字
035192	植田 俊介	都道府県別にみる少年犯罪
035200	岡部 圭一郎	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
035221	森 優樹	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
035223	山本 晃裕	中部国際空港開港による周辺地域への影響
035231	岡野 章喜	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
035271	今井 壽則	都道府県別に見る中学・高校・大学生の卒業後の進路に関する分析
035278	北村 裕矢	神社と寺の分布に見る地域の特徴
035298	宮岡 智也	和歌山県の人口と産業構造
035300	吉田 佳太	鳥取県における二十世紀梨の経済効果

「2006年度卒業論文集の刊行に寄せて」

2007年3月

指導教員　草薙 信照

草薙ゼミの第７期生となる諸君は，〝経営情報学部・経営情報学科〟の2003年度入学生＝第７期生でもあった．2003年度といえば，私が米国・シカゴに留学していた１年であり，ゼミに集うまでは顔を合わせる機会の少ない学年であったと思う．

「ＩＴを活用した地域経済情報の分析」というやや難しい看板に集まってくれた学生に対しては，２年間をかけて厳しく鍛えてあげようと考えていたのだが，さて，何人の人がそれに気づいてくれただろうか．集まってくれた20名（最終的には16名）の諸君とは，ゼミコンパや３年冬の北海道合宿，４年秋の鈴鹿合宿など，さまざまなイベントを通じて，深くまじわることができたと思っている．そしてなによりも，ふだんのゼミの時間に，あるいは放課後に，皆が仲良く楽しそうに過ごしてくれたことは，大いに自慢できることである．

◇◇◇◇◇

さて，卒業論文の総評である．並んだテーマだけを見ればかつてないほど素晴らしい出来栄え，全員が「地域経済情報の分析」という共通テーマに沿って研究に取り組んでくれたおかげで，とてもまとまりのある論文集が出来上がったといえるだろう．共通テーマという縛りはあるものの，各人が強い関心を持てるテーマを自ら選んだことで，辛い作業に耐え，時には涙を流しながらも，なんとか完成にこぎつけられたのである．このようなテーマについて諸君と一緒に考え議論する機会を得たことは，私にとっても良い勉強となったのは確かであり，そういった意味でも諸君には感謝している．

毎年，完成した後だからこそ言うことであるが，私が卒業論文の意義としてもっとも重要だと考えていることは，卒業研究のテーマや論文の出来栄えではない．自分が選んだ１つのテーマに対してこれほど真剣に取り組んで研究することが，諸君にとっては初めての貴重な経験になったであろう，という点である．したがって，一生懸命に取り組んだという姿勢がひしひしと伝わってくる限り，考えていたことの半分しか言い表せていなくても，あるいは大半が参考文献からの引用の寄せ集めであったとしても，その論文は何物にも替え難い貴重な宝物であると言ってあげたい．個々の論文の評価は，その価値を最もよく知っている人＝研究者本人，そしてこの本を手にした読者の方々に委ねたいと思う．

大学生活４年間の集大成として卒業研究という大仕事をやり遂げた経験は，必ずや，これから社会人として仕事に携わっていく上での自信につながるだろう．そして10年後あるいは20年後にこの本を開いた時，懐かしく良き想い出として，諸君の心に鮮やかによみがえるに違いない．

今後は同じ社会人として対等に，あるいは時を経て私を導いてくれるようなつきあいをしていけるならば，教師としてこれにまさる幸せはない．諸君の今後の人生における健闘を期待する．